

# 柳城

R y u j o

柳城学院報

第63号

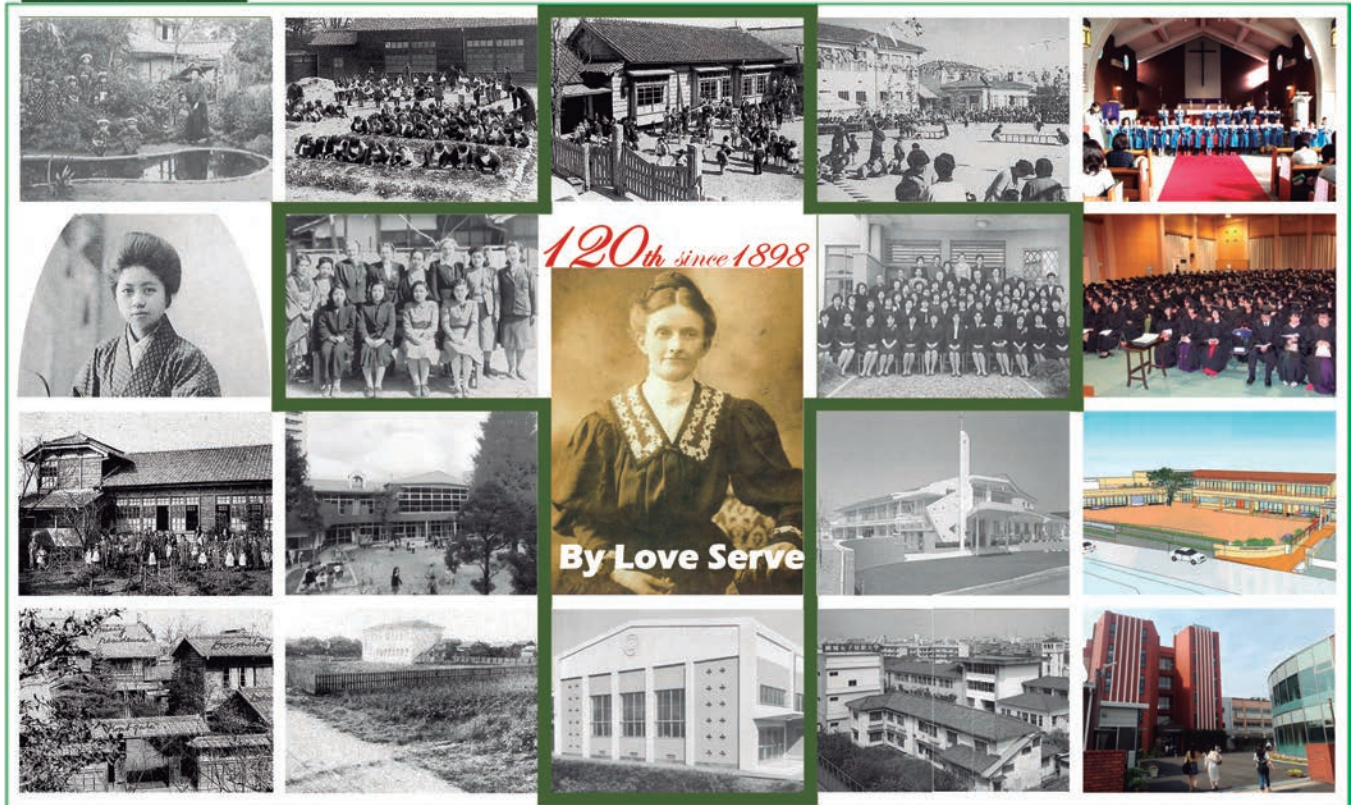
発行所：学校法人 柳城学院

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54  
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：洪澤 一郎

2018年8月1日

**RYUJO**  
By Love Serve



## 目次

キャンパス整備計画	4
百二十周年に向けて	4
豊田幼稚園のこども園移行と建替えについて	5
学院人事／理事・監事・評議員	5
聖書のことば	6
同窓会 News	6
子育て支援活動「すくすく広場」が 2年目を迎えました	7
「手づくりキッズ紙芝居コンクール」から 新たな紙芝居企画への試み	7
附属柳城幼稚園	8
附属豊田幼稚園	9
附属三好丘聖マーガレット幼稚園	10
2017年度会計報告	11
2017年度就職状況	12
2018年度入試結果	12
2019年度入試概要	13
第1回 新生病院リトリートについて	13
後援会役員	14
今年からこどもフェスタが変わります	14
夢ゼミ	14
新任教職員紹介	15
オープンキャンパス情報	16
附属幼稚園情報	16
同窓会総会のお知らせ	16

# “更なる飛躍を目指して”

はじめに

2018年度も5ヶ月が過ぎようとしています。皆さん、各幼稚園の園児の皆さん、教職員の皆さんはそれぞれの務めにそれぞれの場でお励みのことと思います。皆さんがそれぞれ自身を十分に発揮しつつ目標に向かって進んでいただくことを願っています。

## 柳城創立120周年

さて、柳城学院は今年創立120周年を迎えました。1898年（明治31）、創立者のマーガレット・ヤング先生が現在の名古屋市東区白壁町の自宅で保母養成を始めたのが柳城学院の始まりになります。

今年はそのから数えて120年目になります。ここに至るまでには多くの皆様方のご支援とご協力があったことを心より感謝申し上げます。そして、何よりもわたしたち柳城の教育と福祉の志を忍耐強く見守り、導いてくださいました神様に感謝をいたします。

## これからの柳城

柳城学院は120周年を機に大きく飛躍しようとしています。2019年度から附属豊田幼稚園が幼保連携型認定こども園に移行します。現在の幼稚園機能に更に保育所的機能も加え、教育・保育・子育て支援を一体化させ、充実したこども園を目指します。これからは乳幼児も入って来ます。にぎやかに成長しましょう。しかし、子どもたちの成長に小さい時から関われることは本当に素晴らしいことなのです。大変さはありませんが、今までの幼稚園的発想を転換して保育に当たっていただきたいと思っています。

短大に目を向けますと、柳城は2020年に向かって4年生大学の設置を目指しています。120年の歴史と実績を持つ短大における保育と福祉の学びを更に充実させることにより、より高度な教育も求めて行くこととなります。柳城への期待がますます高まることと思えます。

## それに合わせてキャンパス整備

も整えて行くこととなります。今年度はカフェ棟が完成し、学生、教職員の皆様が大いに利用していただけます。嬉しいことです。更に充実した教育環境を整えることにより、より素晴らしい教育者、保育者、介護者が育つことを確信しています。

## キリスト教保育の原点：

### イエス・キリストの思い

それにしましても環境が整ってもそこに学ぶ者、教える者がどういう意識や姿勢をもって学び、教えるのかということが問われます。いわゆる「キリスト教保育」とか「聖公会保育」ということの本質はありますが、その基本となるのはイエス・キリストの教えにあることは間違いありません。

イエス・キリストの教えといってもたくさんありますが、わたしは子供に対するイエス・キリストの理解に注目したいと思うのです。あるときイエス様の所に子供



理事長 渋澤 一郎

たちが連れて来られました。イエス様に祝福してもらったためです。そのときイエス様の弟子たちが、子供たちを連れて来た人たちは叱りました。なぜでしょう。それは当時、子どもは一人前の人間とは考えられていなかったからであり、しかもイエス様が教えておられる最中でしたから、その邪魔になると弟子たちが考えたからです。

しかし、イエス様はどうだったでしょうか。イエス様は弟子たちを叱りました。「子供たちをわたしの所に来させなさい。神の国はこのような者たちのものである」と言われたのです。そして、子供たちを抱き上げて、頭に手を置いて祝福されました。

イエス様は子供たちを一人前の人間として、あるいはそれ以上の存在とみなしておられます。神の

国に入るためには子供のようにならなければならないとまで言われるのです。子供は当時の社会では最も低くされた者、小さくされた者の一人です。イエス様はその最も小さな者、低くされた者に最大級の愛を示され、受け入れておられます。

キリスト教保育の原点はそこにあります。これは幼児に限ったことだけではなくありません。学生、高齢者においてもそのようなのです。この世界において小さい者、小さくされた者、あるいは小さいことと思われている事柄…そこに愛をもつて仕え、関わっていくところに柳城の原点があるのです。

# 2018年度の重点目標

## 2 018年は柳城学院にとって創立120周年の記念の年です。私たちは初心にかえって120年の歴史を振り返るとともに、長い伝統の中で培われた「愛をもって伝えよ」という建学の精神が、学生、教職員、卒業生の間で生き生きと満ち溢れた柳城学院を目指します。

1. **日本の保育を担う**  
すぐれた保育者の育成

キリスト教主義の教育理念に基づき、神様から与えられた命に感謝し、人と人とのつながりを大切に、他者へのやさしい思いやりをもち、献身的に社会に貢献しようとする保育者を育てます。人間としての基礎を築く大切な幼児期にあって、子どもたちの遊びを中心とする保育を進め、保育者としての専門的知識、実践力、コミュニケーション力を身に付け、地域社会から望まれる保育者を育てます。

いる人材を掘り起こし、保育者不足の幼稚園や保育園の要望に応えます。

### 2. 4年制大学新設の検討

これまでの名古屋柳城短期大学の保育科、専攻科の定員を見直し、4年制大学の新設を含め質の高い保育者養成校を目指します。

2020年4月の4年制大学新設を目指し、「大学設置準備室」を設け、文部科学省への認可申請を行う予定です。また、どんな大学を目指すのか、どんな保育者を養成するのか、新たな大学の体制をどうするか、その理念と具体案を提示します。

### 3. 魅力的なキャンパス整備の推進

2017年度、2号館カフェ棟の増築により1階に学生食堂「キッチンほらべこ」、2階にラーニングコモンズ、3階に屋上テラスなど魅力的なキャンパス整備の第1期工事が完了しました。さらに2018年度、2019年度、4年制大学の申請を見定めながら、キャンパス整備計画を継続して推進します。4年制大学のための教室・研究室の増設、アクティブラーニング教室の新設、1号館改修による耐震工事の実施、学生支援センターの設置など学生が夢をもって学び、充実した学園生活を送れるキャンパスを実現します。

4. **保育科、保育専攻科の**  
入学者の確保  
少子化が進む中、18歳人口の減少は日本の大学全体に大きな影響を与えています。2019年度の入学者を確保をめざして、募集対象エリアを絞るとともに、都市型大学のイメージの強化、新しいメディアの積極的な活用、学生参加によるSNSなど様々な広報活動を展開します。またオープンキャンパスや高校訪問など全学的な活動をすすめ、指定校推薦入試、専願希望者によるAO入試に力を入れ、4年制大学実現への実績を作るために保育科、専攻科への入学者の確保を目指します。

### 5. 社会の要請にこたえる

幼児教育・保育の確立  
いま日本では、安心して子育てができるための社会体制づくりが求められています。附属豊田幼稚園では幼保連携型認定こども園の2019年開設を目指しており、新しいこども園舎を完成させるとともに、保育教諭を確保して、その整備に万全を期します。附属幼稚園は、地域から要望の強い0〜3歳児の保育、遊びを中心とした質の高い幼児教育の維持に努めるとともに、地域の子育て拠点としての役割を果たすべく、入園児の確保に努力します。

またすぐれた若手保育者の育成に努めるとともに、結婚、出産、育児の時期にも保育の仕事が継続でき、いつでも職場に復帰できるよう、附属幼稚園教職員の待遇を改善し、すぐれた幼稚園教諭、保育教諭の確保に努めます。

### 6. 開かれた大学として

地域社会への貢献  
改装なったキッズルーム、ラーニングコモンズを活用して、赤ちゃん教室や母親教室、紙芝居や本の読み聞かせ教室などを開催し、地域社会に貢献するとともに、あわせて学生の子育て体験の場として活用します。

また学生の主体的なボランティア活動を活発にし、長野県にある新生病院などへのボランティア訪問を実施するとともに、地域の子育て支援、障害者支援など地域社会への貢献を推進します。

### 7. 将来計画の策定と業務体制の確立

120周年記念募金の実施  
大学設置準備室の設置により、保

学長 長縄 年延



育科、専攻科の見直しを進めるとともに、4年制大学の新設など柳城学院の中長期を展望するビジョンを策定します。

2018年〜2023年の6か年は、豊田こども園の新築、キャンパスの整備、4年制大学の設置など多額の資金を必要とする事業が続きます。将来を見通し、確かな資金計画を立てるとともに新たな業務体制を確立します。

創立120周年に当たり、後援会、同窓会、幼稚園、教会関係など広く内外に呼びかけ「柳城学院創立120周年記念募金」をおこなうとともに、給付型奨学金としての「マーガレット・ヤング基金」の充実を図ります。

## キャンパス整備計画

〔短期大学〕

2010年、北館の建設により  
教室を増やし、また2014年、  
3号館の建設により教室・研究室・

ピアノサポーター室・第2学生ラウ  
ンジを確保してきました。

しかし、学生満足度調査等で  
は、まだまだ施設的には十分な満



足は得られていない状況  
で、特に学食  
に対する希望  
はかねてより  
強くあり、開  
設が待ち望ま  
れていました  
が、2017  
年11月より  
工事に入り、  
2018年3  
月ついにカ  
フェ棟が完成  
しました。1  
階には学食、  
2階には図書  
館に続くラ  
ーニングコモ  
ンズ、3階には  
屋上テラスが  
誕生し、学食  
は学生からの  
公募の結果

「キッチンをはらべこ」と名付けら  
れました。

また、学生会が使用している5  
号館は一室を完全防音化し、利用  
の便を図るとともに、学生用ロッ  
カー棟を仮設ロッカー棟に移転さ  
せ、中庭を広くオープンにしまし  
た。中庭では花壇やプランターが  
充実し、今年度は日本園芸協会の  
第20回ガーデニングコンテストに  
おいて、地域振興賞を受賞しまし  
た。

短大のキャンパス整備全般に係  
ることとして、今後の施設の拡充  
に備え、キュービクルの取り合え  
をはじめ、様々なインフラの整備  
も行いました。

今後は、2019年度をめぐりに、  
学習環境の整備、耐震補強を念頭  
に、新5号館の建設、1号館の耐  
震改修、更に学生支援機能やピ  
アノサポーター体制の充実のための施  
設を拡充していく予定です。



## 百二十周年に向けて

一八九八年に創設され保育者  
養成を始めてから、柳城は今年  
で百二十年を迎える。百二十年  
の主要行事は、十一月に行われ  
る創立記念礼拝及び記念講演会  
である。マーガレット・ヤング  
先生をはじめ、これまで柳城を  
支えてこられた多くの方々に対  
して感謝の意を表しながら、主  
の恵みのもとにこれからも柳城  
が歩むことを祈念するものであ  
る。日本聖公会首座主教であり  
北海道教区主教でもある植松誠  
氏をゲストにお招きする予定を  
している。また、その式典に間  
に合うように、文集「思い出」  
の発行を計画している。百二十  
周年の記念誌についても準備を  
進めてはいるが、その発行はも  
う少し先になりそうである。柳  
城の歴史をふり返ると、四十周  
年、六十周年、七十周年、八十  
周年、百周年等の節目のときに  
は、大々的に記念式典が行われ  
ていたようであり、私自身の記  
憶を辿ってみても、百周年のと  
きには、記念の文集が発行され  
たり、写真集が発行されたり、

記念講演会が行われたり、百周  
年記念募金が行われたりし、さ  
らに少し後には、百年史が刊行  
されることになった。今回の  
百二十周年も、文集や記念誌を  
発行するということについては  
は、百周年の際の発想を引き継  
いでいる側面も確かにあるが、  
ただ単にその続きを記述する  
ということではない。

これまでの歩みをふり返り、  
今自らが立っている場所をよく  
確かめながら、これからの進  
むべき道を模索していく作業  
は、記念行事というものが本来  
的にもっている重要な意義であ  
り、学院としては定期的に確認  
していくことが必要なことでも  
ある。短期大学が置かれている  
状況は、二十年前とは大きく異  
なっている。二十年前に柳城は  
自らの将来をどのように見てい  
たのであろうか……このような  
過去における将来のヴィジョン  
にも耳を傾け、思いを馳せるこ  
とができるような記念の年とな  
ることを心より願っている。

(副学長・菊地伸二)

# 豊田幼稚園のこども園移行と 建替えについで

昨年の学院報でもお伝えしましたように、豊田幼稚園は2019年4月から「幼保連携型認定こども園名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園」として新しくスタートいたします。(少々長い正式名称ですが、今まで通りに「豊田幼稚園」と呼んでいただければ結構です。)柳城学院にとってこども園運営は新しい経験ですが、0歳～5歳までの子どもたちが安全に楽しく過ごせるよう、現在開園に向けて準備を進めているところです。

幼保連携型認定こども園は、幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設です。今後の園児募集については、主に満3～5歳児は園が直接募集、保育園児(主に0～2歳児)は豊田市経由での募集となります。そのため今後はより豊田市や地域との関わりが増えていきます。地域との連携が重要となってきた今日では、このように関わりが広がることは学院としても好ましいことです。

開園に向けた園舎の建替えは計画通りに進んでいます。昨年の夏

に着工し、今年の春にI期

工事(新園舎の一部と仮設園舎)が完了しました。ゴールデンウィーク明けから使用開始し、まず年長組が新園舎に入りました。仮設園舎には年少、年中、職員室が入りました。しばらくの間は少し窮屈ですが、既に完成したホールでは思いっきり遊ぶことができ、子どもたちは大喜びです。引き続きII期工事(東側園舎の建設、園庭の整備)を進めており、年度内に新しい園舎が全て完成します。

幼保連携型認定こども園

の開設は、学院創立120周年記念事業としても位置付けています。本学院では今までそれぞれの時代に応じて附属幼稚園の運営をしてきました。今回、保育園としての機能も持つ幼保連携型認定こども園が附属園に加わることで、学生・教職員ともこれまで以上に

関わっていくこととなります。学び、研究、実践を通して、時代に則したより良い保育を目指してまいります。



仮設園舎



新園舎 (ホール)

## 学院人事

### 〔退職〕

2018年3月31日付

### 〔短大〕

特任教授 野々垣文成

### 〔豊田幼稚園〕

教諭 久松 仁美

### 〔三好丘聖マーガレット幼稚園〕

教諭 坂口二三香

チャプレン 田中 誠

### 〔採用〕

2017年10月1日付

### 〔豊田幼稚園〕

副園長 加藤 明宏

2018年4月1日付

### 〔法人〕

職員 山本 将

### 〔短大〕

教員 榎戸 裕子

職員 西川 亘

職員 山村 亮子

### 〔豊田幼稚園〕

教諭 柴田紗也加

教諭 中川理津子

教諭 小野田陽子(特任)

職員 木内久美子

### 〔三好丘聖マーガレット幼稚園〕

教諭 原田 真緒

チャプレン 下原 太介

### 〔昇任〕

2018年4月1日付

### 〔短大〕

准教授↓教授 芝田 郁子

助教↓講師 扶瀬絵梨奈

助教↓講師 菊池 理恵

### 〔役職交代〕

2018年4月1日付

### 〔豊田幼稚園〕

園長 加藤 明宏

副園長 岡野 尚子

### 〔異動〕

2018年4月1日付

教諭 眞野亜里紗

(豊田幼稚園↓)

三好丘聖マーガレット幼稚園

2018年6月1日付

### 〔短大〕

職員 相川記久恵

(教務課↓経理課)

職員 尾澤 翔子

(経理課↓教務課)

### 理事・監事・評議員

2018年5月28日付

理事長 加藤 明宏

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

理事 池田 正毅

# 聖書のこ と ば

知恵ある子は父の喜び、  
愚かな子は母の嘆き。

(箴言10:1)



「箴言」は旧約聖書の中で知恵文学に属し、「ソロモンの箴言」とも呼ばれ、イスラエルのソロモン王時代(紀元前10世紀)に始まり、その後数世紀にわたり、言い伝えとイスラエル独自の宗教的思想のもとに、文書化されました。「箴言」とは聞きなれない言葉ですが、「箴」には戒め・諭す言葉、格言、ことわざがその内容となっています。箴言には「知恵」という言葉がよく出てきます。「主を畏れることは知恵の初め。無知な者は知恵をも諭しをも侮る。」(1:7)「知恵を授けるのは主」(2:6)「自分自身を知恵あるものと見るな。主を畏れ、悪を避けよ」(3:7)等々。

「知恵がある」とは、普通一般には利口なこと、頭が良く勉強ができること、知的能力に優れていることなどを言いますが、聖書では人間をお創りになり、愛し、守り、生かしてくださる神さまを信じ、

恐れかしこみ、敬うことこそ、知恵があることと教えています。そしてその知恵は、神さまが授けてくださるものとされています。一方、一般的に「愚か」とは思慮分別がなく、軽率で、浅はかなことを言いますが、聖書で「愚か」とは神さまを信じず、敬わず、恐れかしこまないこと、自分自身を知恵ある者とみなすことを言います。さて、子どもがどうあれば父の喜びであり、母の嘆きなのでしょうか。

お稽古ごと、教室、学習塾へと出かける子どもたち、その期待に応える子どもが父の喜びであり、添えない子どもが母の嘆きなのでしょう。

父母や保育者がどのような生観、価値観をもって、子どもと向き合っているかが、子どもの成長に大きな影響を与えます。目に見えるものや、外に現れた姿、形や結果だけにとらわれ、一喜一憂する愚かな大人にならないうようにしたいものです。目に見えないものを見る目を持つ知恵ある大人になることが、わたしたちに求められています。子どもの中に、目に見えない一番大切な心が健やかに育っていることを、喜びをもって感じとることのできる知恵が与えられますように。

父母の期待を背負って、各種の

(チャプレン 主教 大西 修)



## 同窓会 News

のぞみの会 会長



鎮旗 真弓

皆さまおかわりありませんか。近頃新しいことを覚えることがとても困難になって、我ながら情けなくなる場合があります。パソコン、スマートフォンが次々と新しい機能を備え、ついつい便利だと機械に頼ってしまい、ますます脳は退化してしまうのでは?と恐ろしくなるのは私だけではないと思います。いかがでしょうか? 皆さんの初めの記憶はどんなものでしょうか? たまにお母さんのお腹の中にいた時の記憶がある、という方がいらっしゃいますが、大抵の方は幼稚園くらいの頃のことではないでしょうか。先日ある方とお話をしていて、私の幼稚園時代の記憶の話になりました。先生に言えなくて座ったままお漏らしをして家へ帰り、次の日登園したら座布団が洗って干してあったこと。別の日お漏らした私のズボンを先生が洗ってストープで乾かして、焦がしてしまったこと。そんな記憶ばかり、と話していた

らその方曰く「負の記憶の方が残りやすいもの」そういえばそのとおりかもしれません。思い出したくないような記憶ほどふとした時に蘇ります。 保育士として子どもたちに接しながら、学生の頃教わったことで、今も心がけていることのひとつが「午後からは叱るようなことはせず、楽しかった記憶を持たせて降園させること」です。毎日笑顔で登園するには大切なことだと思っております。大人も一緒。少々の嫌なことは、楽しいこと、感動することです。上書きできると思っています。 学生の皆さんが毎日笑顔で過ごし、毎日笑顔の大人となり、周りの人たちを笑顔にできるよう、同窓会は少しでもお手伝いをしていきたいと思っています。



## 子育て支援活動

### 「すくすく広場」が2年目を迎えました

幼児教育研究所では、昨年度から、キッズルームを利用した子育て支援活動として「すくすく広場」をスタートしました。これは、大学としての地域貢献を目的とするとともに、学生の学修の深まりや広がりにつなげることを目指しています。

具体的な子育て支援活動としては、様々な取り組みを行っています。キッズルームを自由開放する「すくすくタイム」(0、1歳児対象)では、保育を専門とする大学ならではの良質な遊具や玩具を用意し、親子で自由に遊べる場を提供しています。これは親子同士の交流の場にもなっています。本学卒業の専属スタッフが常駐しており、時に絵本の読み聞かせや遊びの紹介なども行い、それを楽しみに参加される方々もいらっしやいます。その他に、本学教員が各テーマでお話をする「子育て支援講座」も行っています。前期は1歳児対象の「にこにこクラス」、

後期は0歳児対象の「わいわいクラス」を、それぞれ5〜6回の連続講座として開催することで、保護者同士の交流促進も図っています。また、0歳児親子を対象とした「あかちゃんクラブ」では、教員指導の下、有資格の保育専攻学生が主体となり親子で楽しんで頂けるプログラムを企画運営し、学生の保育実践力の向上にもつながっています。先の「すくすくタイム」や「子育て支援講座」でも、

これらに学生が携わることでも、子どもや保護者と直接触れ合う貴重な機会が得られ、多くの学びや気づきを得ることができています。また、子どもの姿が日常的に身近で見られる環境そのものが、本学の学生にとって有意義なものとなっています。

これら「すくすく広場」の活動には、昨年度一年間で1576組3152名の親子の方々に参加して頂き



ました。そして、利用者の方からのもっと利用できる曜日や時間を増やしてほしいとのご要望を受け、今年度からは「すくすくタイム」の開放曜日を増やし、時間もお昼過ぎまで利用できるようにしました。また、今年3月に本学に新設されたカフェ棟1階の学食を、すくすく広場の利用者の方にも開放し、こちらも大変喜ばれています。これからも「すくすく広場」が地域における子育て支援と保育者養成により一層寄与していけることを目指してまいります。

## 「手づくりキッズ紙芝居コンクール」から新たな紙芝居企画への試み

昨年度第11回目を迎えた

「手づくりキッズ紙芝居コンクール」には、145作品の応募がありました。最優秀作品は、放課後児童クラブちくさキッズさん(団体)による「ふしぎなさかな」でした。独創的でユーモラスなストーリーと絵からは、お友だち同士で楽しげに語らいながらお話のイメージを膨らませ、皆で分担協力して紙芝居作りに取り組んでいる様子が伝わってくる素敵な作品でした。

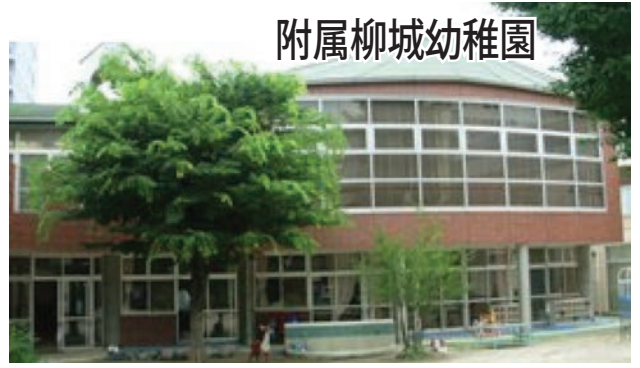
これまで当委員会では、紙芝居の魅力を一人でも多くの方に知って頂きたい、紙芝居を通して親子をはじめ人と人のかかわりを深めたいとの思いで、本コンクールを11年続けてきましたが、これとは違う形でその目的を果たせないだろう

かと、新たな試みを検討することにになりました。そこで今年度は、これまでのような応募作品の中から選考するコンクール形式ではなく、「自作の紙芝居を演じてみよう!」と題し、参加対象者も幼児から高校生までと幅を広げ、自作の紙芝居を上演したい方に一人でも多く参加して頂く企画を、11月の柳城祭で実施する予定です。これまでのキッズ紙芝居コンクールにご参加、ご協力頂きました多くの方々に深く感謝申し上げます。

今年度の紙芝居企画にも多くの方にご参加頂けることを心より願っております。



## 附属柳城幼稚園



### 満3歳児クラス

3歳になった翌日から入園できる桃組。今年度は4月に、クラスの人数1名から始まりました。7月には7名が増え、今後も次々にお友だちが入園予定。だんだん賑やかになっていきます。

小さい時にこそ体験を大切にしたい。そんな思いで、春には近くの公園におやつを持って出かけ、のんびり虫探しや草花摘み、木の実探しをしました。梅雨時には、傘とレインコート、長靴の完全防備で雨の中を探検。水しぶきを浴びたり、雨の音を聴いたり、普段はなかなかできない遊びを満

喫しました。ほとんどの子どもが桃組で、社会生活の第一歩を踏み出します。「幼稚園大好き、お友だちと遊ぶの楽しい！」そんな気持ちが一番に育てたいと思います。そして、低年齢特有の様々な思いを大切にしながら、少人数ならではのきめ細かい保育をしていきたいと思っています。

(満三歳桃組担任 豊田 升子)

### 年少組

今年度の年少赤組は、可愛くてたまらない個性豊かな18名の小さな子どもたちとスタートしました。朝、小さな体で大きなリュックを背負い、保護者の方と離れるのが寂しく涙を流す姿が多かった4月初め。今では、お友だちに会えること、好きな遊びをすることを楽しみに、笑顔で登園する子どもたちの姿となりました。戸外遊びが大好きな赤組さんは、砂でおいしい食べ物や飲み物を見立てて作ったり、三輪車に乗って連なってお出かけしたりしています。そして、園庭にあるジュンペリーの木。緑色だった小さな実が赤色になって食べられるのを楽しみに待っていた子どもたち。赤く色づいて、子どもたちは毎日一つずつ

食べることを楽しみにしてました。様々な事に興味を持って、いろいろなことに関っていく小さな可愛い子どもたちと、一年間笑顔が溢れるクラスにしていきたいと思っています。

(年少赤組担任 吉田 圭織)

### 年中組

進級した事に、期待と少しのドキドキを持って4月を迎えた子どもたち。一つ大きくなった喜びを胸いっぱい、毎日元気に登園してくれています。「せんせー！おはよう！」門から一人て玄関に向かってくる姿に、一年前の小さかった姿を思い出して、大きく逞しくなっている子どもたちに嬉しさを感じています。とにかく楽しいことが大好きな黄組は、日々の活動に期待いっぱいやる気を見せてくれています。毎日「今日は何するの？」とキラキラ輝く瞳で見つめられ、私自身もその期待に応えようと努める幸せを沢山噛みしめています。元気な33人の子どもたちが、黄組の一年を通して、人を思いやる心や、友だちを大切にすることを温かく育みながら、様々な気持ちを感じて成長しているよう、一人ひとりに丁寧に寄

り添った保育を行っていきたくないと考えています。

(年中黄組担任 伊藤 沙恵)

### 年長組

思いやりと優しさで溢れている青組、心が真っ白で純粋で本当に愛おしい22人の子どもたちです。戸外では虫探しやおままごと、鬼ごっこや鉄棒など、のびのびと友だちと心を通わせ遊ぶ姿があります。子どもたちの遊びの姿から、友だちに対する思いやりの心がたくさん見受けられます。困ってい

る友だちに手を差し伸べたり、小さな友だちに使っていた玩具を譲ってあげる姿は、本当に頼もしく思いやりで溢れています。そんな大好きな子どもたちと過ごせる毎日を大切にしたいと思います。年長ならではの行事も、ひとつひとつ子どもが主体となり、試したり考えたりしながら、思い切り楽しんで充実した時間となるよう過ごしていきたいです。自分を愛し友だちを大切に、思いやりの心と優しさを持って、この一年を過ごして欲しいと思います。

(年長青組担任 加藤 惟奈)







## 豊田幼稚園 2018

今年のGWを境に、慣れ親しんだ園舎から一部新園舎と仮設園舎に大移動して来ました。

引越しを終えた子どもたちの感想は？

「オモシロイ」でした。

大人とは全く異なる答えに、なるほど！そう捉えると気持ちちは明るいね、と感心しきり。

保育環境が変わっても相変わらず、子どもたちから学ぶ日々を過ごしています。

### たくましい発想

来年春まで続く園舎改築工事のため、園庭が随分狭くなっています。どのようにして遊ぶのか…保育者は頭をひねっていました。

そんなある日のこと、一晩中降った雨で園庭は水たまり状態。しかも、園庭から側溝に出る水の抜け道がずぶれています。仕方なく、園庭に鍬で溝を掘り、水を側溝に流す作戦に出ました。

徐々に水たまりの水かさは減って、いい感じでした。

登園時間になり、子どもたちが通りかかると、目を輝かせます。

近くにある市木川をのぞくと、亀が甲羅干しをしているところでした。〈写真②〉

「何してるの？」「やってもいい？」「スコップ持って来る」

園の近くの市木川へ散策

間もなく、溝は《川》と名付けられ、船を浮かべたり、泡をすくってコーヒー牛乳屋さんが始まったり、スコップで護岸工事をする子どもたちの姿も…

子どもたちによって、魅力あふれる遊び場になりました。〈写真①〉

①魅力あふれる遊び場に…



### 地域に支えられて

いることに感謝！

とはいえ、現在の園庭は子ども

たちが過ごしたり、行事をするには狭すぎます。

そこで、園外保育の機会を増やしました。豊田幼稚園の周辺には、豊かな自然が広がっています。一歩外に出れば、子どもたちがワクワクするような自然環境に出遭えるのです。

また、豊田市や市木町自治区のご理解の下、園から一番近い公園を園児が頻繁に使用することに積極的に協力してくださっています。〈写真③〉



③公園も魅力いっぱい遊び場に…

また、豊田市や市木町自治区のご理解の下、園から一番近い公園を園児が頻繁に使用することに積極的に協力してくださっています。〈写真③〉



さらに、園の向いにある豊田市

立市木小学校は、グラウンドを園行事のために使用することを快く許可してくださいました。

沢山の方に支えられて園が成り立っていることを、改めて実感しています。

### 子育て支援事業

工事の関係で、今年度の子育て支援事業は例年より規模を縮小しての開催です。けれども、担当保育者の思いの熱さは例年通り。

子育て真っ最中の父母が、少しでも心にゆとりを取り戻して、子どもの成長を喜べるようにと開いています。

二歳児教室のいちご組は、子どもたちだけの時間を過ごします。保育者や友だちと一緒に遊んだり



④2歳児教室『いちご組』の一コマ  
食卓を囲んだり…  
家庭とは一味違った楽しさを味わってほしいと願っています。〈写真④〉

親子サークルのぐるんばは、親子と一緒に遊んだり活動をしたりします。外の空気を吸い込むだけで、子どもの新たな一面を発見することもあります。〈写真⑤〉



⑤親子サークル『ぐるんば』の一コマ

### 子ども応援団！

保護者の会役員活動

新館ホールの吹き抜け二階部分に、今年度限定ギャラリーができました。ここで、保護者の会役員の会議や行事の準備等が行われています。不慣れた環境の中でも、子どもたちへの愛情いっぱいに活動を進めています。

### これから

豊田幼稚園は、これまでに『引越し』『園舎解体』『園舎全面改築』を経験し、来年春には、『幼保連携型認定こども園 名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園』に生まれ変わります。

保育環境は変わりますが、これまで大切に育んできた『柳城豊田幼稚園』の心は変わることなく、子どもたちと共に歩んでいきます。



とまと組

2歳児教室「とまとぐみ」は就園前の子どもたちが「幼稚園って楽しいね。」と感じてもらえるよう、2歳児の特性に合わせた保育を行っているプレスクールです。

初めての集団生活ですが、朝登園すると幼児クラスの優しいお兄さんやお姉さんが一緒に遊んでくれたり、いろんなことを教えてくれたりしています。ままごとでお



人形と一緒に  
そうを食  
べて、ニ  
コニコ笑  
顔になっ  
た女の子  
電車が好  
きな男の



ツメクサ  
を摘んだ  
り、三人  
乗りの三  
輪車の後  
ろに乗せ  
てもらっ  
たり毎日

ひよこ組 (満三歳クラス)

昨年まで満三歳児は、年少組との混合クラスで保育していました。が、満三歳児クラスとして独立し、クラス名も新しく「ひよこ組」となりました。今は、年少クラスと一緒に祈りをしたり、給食を食べたりしています。初めての集団生活にドキドキしていましたが、優しいお姉さん・お兄さんと手を

繋ぎシロ  
ツメクサ  
を摘んだ  
り、三人  
乗りの三  
輪車の後  
ろに乗せ  
てもらっ  
たり毎日



た。登園すると「まだかな？」とイチゴの様子を見にいき、イチゴの色が白色から赤色に変化したときは「すごい！」と目を輝かせ、食べごろのイチゴをみんなで分け合って食べました。子どもたちの日々の遊びや自然の不思議さなど様々なことを感じ、楽しく過ごしていきたいと思います。

かでも幼  
稚園で育  
てている  
イチゴを  
収穫し食  
べること  
が一番の  
楽しみに  
なりまし

年少組

入園式の緊張した姿から表情も和らぎ、「おはようございます！」と元気いっぱいに登園する姿が見られるようになりました。年少組の子どもたちにとって幼稚園での生活は初めてがいっぱいです。な

新しいお友だち8人を迎え、計52人の元気いっぱいな子どもたちと共にスタートしました。環境が変わり少し緊張した様子の子もいましたが、昨年度から一緒だった友だちと遊びを楽しむ中で、次第に安心して生活する事が出来るようになってきました。年中組の課題は「気づく・考える」です。



戸外遊びが大好きな子どもたち。最近のブームはだんごむし集めです。その遊びの中で、だんごむしはなぜ園庭の真ん中にはいないのかと疑問に思ったり、湿った場所を好んでいることに気づいたりしています。このように、考えることと気づくこと、この2つを繰り返しながら成長して欲しいと思います。

子どもたちと共に過ごす一日一日を大切にしながら、笑顔いっぱい過ごしていきたいです。

年中組

新しいお友だち8人を迎え、計52人の元気いっぱいな子どもたちと共にスタートしました。環境が変わり少し緊張した様子の子もいましたが、昨年度から一緒だった友だちと遊びを楽しむ中で、次第に安心して生活する事が出来るようになってきました。年中組の課題は「気づく・考える」です。



4月からグループ活動をしています。野菜のお世話をしたり、制作をしたり、先日の母の日参観では『実験くん』（予想を立て実際に実験をする活動）を行いました。「磁石はどんなものにくっつくかな？」子どもたちは「キラキラしたものにくっつく！」木にはくっつかないね！」とグループの友だちと様々な意見を出し合い予想をしてみました。友だちと一緒に考えて、相談して、実際にやってみる活動をこれからも行っていきます。その中で、個々に違う宝物(個性)を持っていることに気づき、友だちの存在を大切にできたいと思います。

新年度がスタートしてまたひとつお兄さんお姉さんになった子どもたち。小さいお友だちの手を優しく

年長組

新年度がスタートしてまたひとつお兄さんお姉さんになった子どもたち。小さいお友だちの手を優しく

# 2017年度 会計報告

## 資金収支状況

(単位：千円)

科 目		2016年	2017年	
収入の部	学生生徒等納付金収入	526,428	519,706	
	手数料収入	10,212	9,499	
	寄付金収入	7,077	6,997	
	補助金収入	261,007	400,894	
	資産売却収入	1,783	1,656	
	付随事業・収益事業収入	44,572	46,325	
	受取利息・配当金収入	491	106	
	雑収入	14,260	7,307	
	借入金等収入	0	0	
	前受金収入	61,407	46,120	
	その他の収入	18,145	26,938	
	資金収入調整勘定	△ 98,335	△ 229,203	
	前年度繰越支払資金	1,615,730	1,641,858	
	収入の部合計	2,462,780	2,478,208	
	支出の部	人件費支出	526,859	529,276
		教育研究経費支出	158,862	196,190
		管理経費支出	71,149	71,610
借入金等利息支出		488	333	
借入金等返済支出		9,270	9,270	
施設関係支出		38,011	450,240	
設備関係支出		40,919	20,588	
資産運用支出		1,200	1,200	
その他の支出		13,702	19,262	
資金支出調整勘定		△ 39,541	△ 203,333	
翌年度繰越支払資金		1,641,858	1,383,570	
支出の部合計		2,462,780	2,478,208	

### [2017年度決算概況]

- 資金収支状況：附属豊田幼稚園の子ども園建替え工事補助金として1億6千4百万円（期末未収）が豊田市より交付された。支出では、今年度、短大キャンパス整備に約4億、附属豊田幼稚園の子ども園建替えに約1億1千万の資金を投入した（内期末未払1億9千万）。その結果、翌年度繰越支払資金としては、2億5千8百万の減少となった。
- 事業活動収支状況：特別活動を除いた経常収支差額でマイナス4千8百万となったが、豊田市補助金の特別収入により基本金組入前当年度収支差額は、8千6百万のプラスとなった。基本金を組入後の当年度収支差額は、マイナス1億7千6百万となった。
- 貸借対照表：総資産は、2億4千3百万の増加となった。キャンパス整備等による固定資産の増加によるものが大きい。

### [学院：事業活動収支差額の経年変化]

- **事業活動収入**  
学生生徒等納付金、補助金などの学校法人の負債とならない収入
  - **事業活動支出**  
人件費、消耗品費、光熱水費などの消費する支出及び資産の消費額
  - **基本金組入前当年度収支差額**  
事業活動収入－事業活動支出
  - **事業活動収支差額比率**  
基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入。率が高いほど自己資本が充実していることを示す。少なくとも、10%以上が望ましい。
- ※ 2015年度より学校会計基準が改正となり、帰属収入→事業活動収入、消費支出→事業活動支出と名称変更となりました。

## 事業活動収支状況

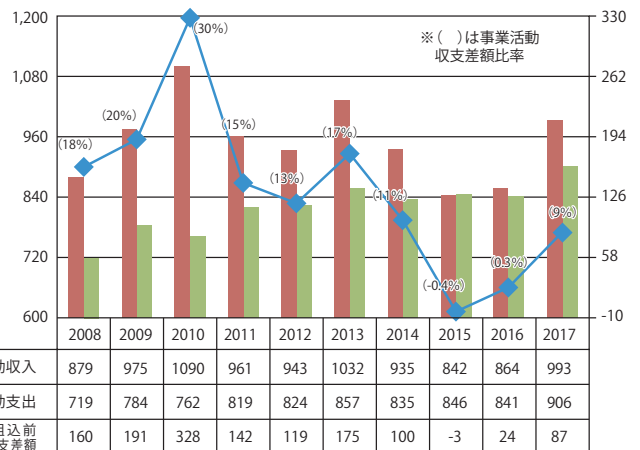
(単位：千円)

科 目		2016年	2017年
教育活動収入	学生生徒等納付金	526,428	519,706
	手数料	10,212	9,499
	寄付金	6,515	6,797
	経常費等補助金	247,766	236,585
	付随事業収入	44,572	46,325
	雑収入	14,260	9,639
教育活動収入計		849,756	828,554
事業活動支出	人件費	527,873	529,276
	教育研究経費	236,177	273,400
	管理経費	73,322	73,868
	徴収不能額等	0	0
教育活動支出計		837,373	876,545
教育活動外収支	受取利息・配当金	491	106
	その他の教育活動外収入	0	0
	教育活動外収入計	491	106
	借入金等利息	488	333
	その他の教育活動外支出計	0	0
	教育活動外支出計	488	333
特別収支	事業活動収入	849,756	828,554
	資産売却差額	367	0
	その他の特別収入	13,871	165,028
	特別収入計	14,238	165,028
	事業活動支出	837,373	876,545
	資産処分差額	2,641	29,972
その他の特別支出	0	0	
特別支出計		2,641	29,942
基本金組入前当年度収支差額		23,981	86,868
基本金組入額合計		△ 43,242	△ 263,783
当年度収支差額		△ 19,260	△ 176,914
前年度繰越収支差額		107,615	88,355
基本金取崩額		0	60,318
翌年度繰越収支差額		88,355	△ 28,240

### 貸借対照表の推移

(単位：千円)

科 目		2016年	2017年
資産の部	固定資産	2,381,922	2,740,393
	流動資産	1,666,605	1,551,959
	(内、預金)	1,641,858	1,383,570
	資産の部 合計	4,048,528	4,292,353
負債の部	固定負債	167,939	155,944
	(内、借入金)	14,100	4,830
	流動負債	95,781	264,733
	負債の部 合計	263,721	420,677
基本金の部合計		3,696,452	3,899,916
翌年度繰越収支差額		88,355	△ 28,240
負債及び純資産の部合計		4,048,528	4,292,353



## 2017年度 就職状況

2017年度の卒業生は、今年度も就職率100%を達成することができました。数字を示しながら説明をします。今年度、保育科、専攻科保育専攻、専攻科介護福祉専攻合わせて207名が卒業・修了しました。そのうち178名が就職を希望し、全員が就職することができました。

就職先の種別データを見ていくと、保育職・介護職で全体の約97.8%を占めました。そのほとんどが正規職員として採用されました。本学に入学する学生は多くが保育者・介護者を目指して入学します。在学中の学びを深め、初志を貫徹し、ほとんどの学生が保育・介護職に就職をしていくのが本学の特徴です。

今年度も昨年度に引き続き、保育・介護職の求人数を多くいただきました。社会問題にもなっている保育士不足を背景に、保育士採用の求人は昨年度同様に増えました。また保育者の求人増加の要因として「柳城は質の高い保育者をつくる」との評価をいただき、多くの保育現場の先生方から柳城生が欲しいという声をいただいています。

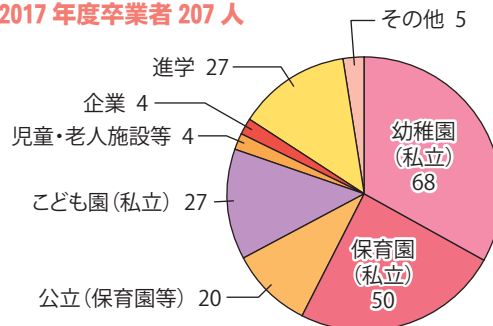
少子高齢化や女性の社会進出が進む現状において、保育者、介護者に対する期待と注目は今後益々高まっていくことと思います。ます。しかし、そこには保護者や家族が安心して保育者、介護者に任せることができる職員の質の高さが求められています。保育・介護の仕事は実践力の向上が不可欠です。学生時代において実践力を養う力を身に付ける必要性が求められます。またそのような人材を育てなければ、現場の期待に応えることが出来なくなります。自ずと授業は厳しく過密なスケジュールにならざるを得ません。しかし柳城生たちは立派に実践力を身に付け、巣立っていくからこそ、現場から柳城生

2018年3月31日現在

		卒業生数(人)	就職希望者(人)	就職率(%)	進学者(人)	就職希望なし(人)
専攻科	保育科	198	169	100	27	2
	保育専攻	5	5	100	0	0
	介護福祉専攻	4	4	100	0	0
計		207	178	100	27	2

を採用したいという声が上がるとは思います。先輩たちが築き上げてきた古き良き伝統をこれからの柳城生たちも身に付け、立派に成長して巣立つてほしいと思っています。少しでもその力になれるように就職課として日々精進していきたいと考えています。

2017年度卒業生 207人



## 2018年度 入試結果

保育科166名、専攻科保育専攻15名、専攻科介護福祉専攻10名の新入生が入学しました。この入学者数は本学にとって大変素晴らしい結果です。

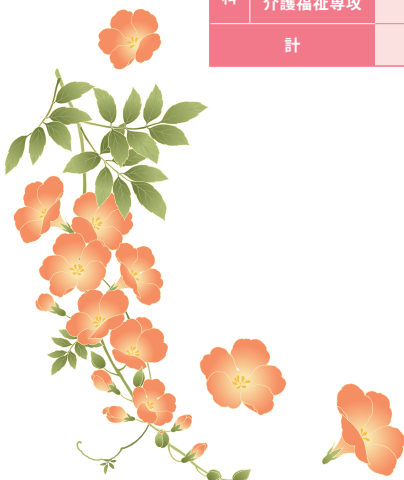
18歳人口の減少、高校生の四大志向、そして、保育者の待遇面を含めた職場環境の問題点がマスコミ等で報道されるなど、厳しい外部環境にさらされていることが要因とも考えられます。しかし、この結果は、

入試広報課が今まで以上の努力が必要であることの証明でもあります。冷静に柳城のおかれている現状を多角的視野に立って分析して、新たな広報戦略を積極的に展開する必要があると考えています。また、教職員が一致団結して学生に共感を得られる魅力ある「柳城」作りに努めなければならないとも感じています。

本学は今年で創立120周年の記念の年を迎えます。歴史と伝統に基づく質の高い保育者養成教育の実績は、社会から大きな評価をいただいております。実習先や就職先の園長先生からは、「常に努力を惜しまない保育に取り組む姿勢が良い」、「保育の内容を豊かに受けとめることのできる基礎的な力を持っている」、「ピアノをはじめとする高い保育実践力が備わっている」などと高い評価をいただいております。

このように卒業生の皆さんが築き上げた歴史と伝統をこれからも大切にして、現代の学生気質も踏まえた教育及び学生生活へのサポートの充実を目指していきます。そのことが、新たな柳城の歴史を作る入学生獲得に繋がると考えています。

身近に保育者養成校への進学を希望される方がお見えになりましたら、本学への受験をお勧めいただければ幸いです。



## 2019年度 入試概要

大学の入学試験には、公募制推薦A入試（専願）、公募制推薦B入試（併願）、公募制推薦C入試（併願）、AO入試、一般A入試、一般B入試、一般C入試、社会人対象等の特別選抜入試、特別推薦入試の試験があります。この中の特別推薦入試には、「同窓生推薦入試」と「キリスト教会推薦入試」が含まれています。まず、「同窓生推薦入試」は、本学を卒業された方のお子様、お孫様、ごきょうだいを推薦していただく入試です。特にこの入試は、合格者のすべての方に対して、入学金が免除される特典があります。次に「キリスト教会推薦入試」ですが、「同窓生推薦入試」と同様に、合格者のすべての方を対象に入学金が免除されます。また、今年新たに一般B入試（国語と英語の2科目入試）において、合格者の成績上位20%に入学金、初年度授業料を半額免除する特典も設けました。

このように本学は、多様な入試を実施しておりますので、自分に合った入試を選んでいただけます。入試広報課では、入試に関する相談やお問い合わせをお受けしております。お気軽にお電話ください。

（入試広報課直通）

052-848-8281

試験区分		募集人員	出願期間	入学試験日	合格通知 発送日
推薦試験	公募制推薦A 入学試験（専願）	40	2018年9月25日（火）～10月5日（金）	10月13日（土）	10月17日（水）
	公募制推薦B 入学試験（併願）	20	2018年10月29日（月）～11月9日（金）	11月17日（土）	11月21日（水）
	公募制推薦C 入学試験（併願）	10	2018年11月26日（月）～12月7日（金）	12月15日（土）	12月19日（水）
AO入学試験		30	2018年9月3日（金）～9月14日（金）	9月22日（土）	9月26日（水）
一般A入学試験		30	2019年1月8日（火）～1月18日（金）	1月27日（日）	1月31日（木）
一般B入学試験		30	2019年1月8日（火）～1月21日（月）	1月28日（月）	1月31日（木）
一般C入学試験		5	2019年2月12日（火）～2月22日（金）	3月3日（日）	3月6日（水）
特別選抜	社会人入学試験	若干名	2019年1月8日（火）～1月18日（金）	1月27日（日）	1月31日（木）
	帰国生徒入学試験	若干名	2018年9月25日（火）～10月5日（金）	10月13日（土）	10月17日（水）
	私費外国人留学生 入学試験	若干名	2019年1月8日（火）～1月18日（金）	1月27日（日）	1月31日（木）
特別推薦	指定校推薦入学試験	35	2018年10月22日（月）～11月2日（金）	11月10日（土）	11月14日（水）
	キリスト教会 推薦入学試験	若干名	2018年9月25日（火）～10月5日（金）	10月13日（土）	10月17日（水）
	同窓生推薦入学試験	若干名	2018年9月25日（火）～10月5日（金）	10月13日（土）	10月17日（水）

### 第1回 新生病院リトリートフェスティバル

創立120周年を目前にした2017年の夏、名古屋柳城短期大学のキリスト教センターでは、「新生病院リトリート」を実施しました。この新企画は、長野県小布施町の新生病院を拠点にして、保育科と専攻科保育専攻の学生たち10名と、引率教員4名が参加した2泊3日の活動として実施されました。新生病院チャプレンで新生礼拝堂司祭の金善姫先生が現地で迎えてくださって、病院や高齢者施設での交流活動や清掃活動等を中心に学生たちが体験型ボランティアを実施するという内容です。

この「リトリート」は、保育科で学んでいることを人との交わりの中で発揮する時間となりました。病院や高齢者施設でのミニコンサートもレクリエーションも、ハンドマッサージをしながらの傾聴も、人との関わりの中で何かを実践し、共有し、何かを実現していくという意味では、保育にも介護福祉にも通じる活動です。そして、この出会いと関わりを通して、名古屋柳城短期大学が日本聖公会に連なるキリスト教主義大学だということの意味や繋がりを実感しました。新生礼拝堂で私たちが迎えてくださった信徒さんの中に、柳城の卒業生の方がお2人いらっしゃって、ホーキンス先生が校長・学長だったころの柳城の思い出を語ってくださいました。こうした出会いの中で、柳城と各地の病院や幼稚園・保育園が日本聖公会の教会を通してつながりがあることを知り、そのつながりの中で柳城の歴史に触れる旅にもなりました。



◆後援会役員 (敬称略・順不同)

役職名	氏名	学年
会長	川口 貴美	2年
副会長	下園 裕子	1年
会計監査委員	高倉久美子	2年
会計監査委員	坂野由紀子	1年
委員	岡本 美雪	2年
委員	前澤 明子	2年
委員	市原 友美	2年
委員	河村 真江	2年
委員	川村 弘恵	2年
委員	干場 典子	1年
委員	高野 寿恵	1年
委員	本田 貞子	1年
委員	鶴飼 直美	1年
委員	岩野 千春	1年
委員	倉本千寿子	1年

今年から  
こどもフェスタが  
変わります

この原稿の依頼内容は、昨年度の「こどもフェスタ」についてでしたので、今から7か月前の内容になります。どうかご了承下さい。昨年度の柳城祭は第49回で、「こどもフェスタ」が柳城祭の2日目に開催されるようになってからは6回目でした。保育科2年生の後期授業「表現Ⅱ」にて【身体表現・音楽表現・造形表現】の3分野の中から1つを選択し授業を履修します。その成果発表が「こどもフェスタ」でした。有難いことに昨年度のこどもフェスタも、盛大に催されて大成功でした。体育

館の床面の半分近くを造形表現の7つの企画(巨大迷路や手作り劇やシアター等)が設置され、舞台では身体表現の2つの劇、音楽表現の6つの合唱パフォーマンズが華やかに上演されました。会場は人の往来が出来ないほど、子どもや保護者でいっぱいになりました。午前の2時間だけの凝縮された時間と空間、達成された領域「表現」は柳城ならではの素晴らしいものとなりました。この「こどもフェスタ」は、今年度から大幅に変更されて、「表現」ではなく「教職実践演習」として各ゼミナールによる発表となります。11月3日、全学舎を会場として始めるこの新しい「こどもフェスタ」をお楽しみに。(松下明生)

夢ゼミ



名古屋柳城短期大学の学外合同ゼミナール(通称・夢ゼミ)は、学生生活が始まる4月に1泊2日で実施されます。夢ゼミは、「仲間づくり」と「学習意欲の向上」を目的に実施され、行先は毎年変わり、2018年は4月19日から20日にかけて、愛知県蒲郡市西浦温泉にて行われました。今年の主な内容は「楽しい大運動会」「砂の造形」「新人生歓迎会」、子どもの本専門店「メリーゴランド」店主 増田喜昭氏による「講演会」、その後1年生、2年生合わせてゼミ毎の「グループ討議」でし

た。一日目の「楽しい大運動会」では、ゼミ毎に保育者らしいコスチュームに身を包み、1、2年合同チームにて戦いました。種目は、ゼミ対抗の長縄跳びとボール運びゲームでしたが、どのチームも本気になって作戦を練り、上位を目指して活躍しました。その後、宿泊地に隣接している海岸で、各ゼミごと全員で協力をしながらバケツで海水を運び、湿らせた砂で海岸に思いを込めた様々な造形物を作成しました。完成した22個の作品は、太平洋に沈む夕日に向かって輝いていました。夕食後「新人生歓迎会」において、すべてのクラスが短い練習時間の中、考えてきた出し物を披露しました。

2日目「講演会」では、講師の先生から絵本選びについて、ものごとろとついた時に出会いたい絵本は、一生覚えているので大事にしましょうということを教えていただきました。講演会の後は、各ゼミごとに分かれ、講演会の内容を検討しまとめ、その後の全大会で発表しました。今年度は天候に恵まれ、1、2年生共にそれぞれのプログラムを思い切り堪能できました。そして、協力して創りあげる楽しさや達成感は競技や造形表現作品を通して得られたのではないかと思います。夢ゼミは、柳城生としての今後の活躍に大いに期待できるものでした。

## 新任教職員紹介

### 就任にあたっての抱負

#### 短期大学

◆短大 准教授 榎戸 裕子



この柳城で教えていただいた幼児教育と建学の精神の「愛をもって伝えよ」を心の拠り所とし、40年間、公立幼稚園教諭として全うすることができました。その当時、身に付けた知識や技術、人間力は、今でも心の中で生き続けております。

今年度、この活気ある名古屋柳城短期大学に着任致します。

◆短大 副事務局長 山本 将  
40年間大学職員として勤務し、本年度から柳城学院で



でお世話になっております。以前から柳城には、とても魅力的なものを感じていました。3ヶ月が過ぎましたが、その思いは変わりません。ただ、その魅力をもう少し強く発信できたらと感じています。今、高等教育機関を取り巻く状況

は大きく変化しています。この学院の伝統と学風を大切にして、学院がさらに発展するよう微力ながら力を尽くしたいと思います。よろしくお願いたします。

◆短大 教務課 山村 亮子  
名古屋柳城短期大学とのご縁を頂いてから、気が付けば6年が過ぎていました。温かい職場の皆様を支えられ、また、朗らかな学生達から元気を貰いながらの毎日はあつという間でした。この度、正規職員として、新たな節目を迎えることになりました。初心に帰り、1つ1つの経験を大切に受け止め、本学の発展に役立てるよう、成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



◆短大 入試広報課 西川 亘  
今年度より本校職員として入試広報の職務をさせていただきます。



◆豊田幼稚園 園長 加藤 明宏  
縁あって昨年10月から豊田幼稚園の子どもたちや教

通して、柳城学院の魅力や環境のすばらしさを伝えていくことに尽力したいです。私自身、保育に関する知識や大学職員として勤めた経験がなく、至らない点多々あると思いますが、どうかご指導賜りますようお願い申し上げます。

#### 附属幼稚園

◆三好丘聖マーガレット幼稚園



今年度から三好丘聖マーガレット幼稚園のチャプレン

◆豊田幼稚園 園長 加藤 明宏  
縁あって昨年10月から豊田幼稚園の子どもたちや教



◆豊田幼稚園 教諭 柴田紗也加  
今年度より新しく柳城豊田幼稚園に勤めさせていただきます。



◆豊田幼稚園 専任職員 木内久美子  
今年度より専任職員としてお世話になります。



◆豊田幼稚園 専任職員 木内久美子  
今年度より専任職員としてお世話になります。

◆豊田幼稚園 教諭 中川理津子  
生まれ育つ和歌山を離れ、今年3月末に豊田にやってきました。神様のお導きによって、柳城豊田幼稚園の仲間に入れて頂きました。新しい環境に期待と不安がありますが、年少組のとても可愛い子どもたちと共

◆豊田幼稚園 専任職員 木内久美子  
今年度より専任職員としてお世話になります。

◆豊田幼稚園 専任職員 木内久美子  
今年度より専任職員としてお世話になります。

◆豊田幼稚園 専任職員 木内久美子  
今年度より専任職員としてお世話になります。

◆豊田幼稚園 専任職員 木内久美子  
今年度より専任職員としてお世話になります。

◆豊田幼稚園 専任職員 木内久美子  
今年度より専任職員としてお世話になります。

# 2018オープンキャンパス情報

見て・聞いて・話して・感じてください 柳城を!!

7月14日(土)、8月25日(土)\*いずれも10時30分～15時で開催します。  
 なお、11月3日(土・祝)は、10時～15時で開催します。内容は、公募制推薦入  
 試説明会、個別相談会のみですが、柳城祭と同時開催で行いますので、1日柳城で楽  
 しく過ごしていただけたらと思います。卒業生の皆様も是非お越しください。



7月14日(土) 8月25日(土)

いずれも10:30～15:00

11月3日(土・祝)

10:00～15:00

2018年オープンキャンパスの今後の予定は左記のとおりです。柳城の紹介、学生による発表、保育模擬講義、保育実技体験、施設自由見学、柳城生と気軽におしゃべりしよう!など様々なプログラムで高校生をお迎えします。更に今年からは、念願の学食「キッチンらべこ」が開店したことから、無料ランチ体験も実施されます。卒業生の皆様からもお知り合いに保育・幼児教育に関心のある高校生がいらっしゃいましたら、参加をお勧めいただければ幸いです。

## 柳城幼稚園

〈行事 8月～10月上旬〉

- 夏祭り：8月31日(金) 16:00～  
園庭で、輪投げなどのゲームコーナーを設け、在園児・卒園児・近隣の方に参加していただく地域交流の場。
- 入園願書配布：9月1日(土) 9:00～  
園庭開放 9:00～11:00
- 入園説明会：9月8日(土) 10:00～  
入園希望者に対して、説明会を行い、園の成り立ちや保育の特徴や入園にまつわる色々な情報を提供する。
- 入園願書受付：10月1日(月) 7:30～
- 入園面接：10月6日(土)  
3歳児・4歳児：各15名程度募集出願者ごとに個別の面接を行う。
- 運動会：10月13日(土) 雨天順延  
主税町公園にて 8時40分～11時30分頃

〈子育て支援情報〉

- マミークラス  
月に1回程度 10:00～11:00  
2歳までのお子さんとお母さんの憩いの場  
無料 電話予約
- たんぽぽ組  
月に1～2回程度 10:00～11:30  
2歳から就園までのお子さんとお母さんの集いの場 無料 電話予約
- ちゅうりっぷ組  
週に2日 9:00～11:30  
火・木コース  
水・金コース  
2歳から就園までのお子さんのクラス  
10名定員

上記の3つのクラスで未就園児のお子さんとお母さんの子育てを応援しています。

## 豊田幼稚園

〈園行事〉

- 運動会  
10月6日(土) 雨天順延  
会場：豊田市立市木小学校グラウンド
- 柳城こどもまつり  
10月20日(土) 雨天決行  
会場：園舎 & 園庭

〈子育てセミナー〉

- 第1回 9月20日(木)  
「大人のためのCAPワークショップ」
- 第2回 10月12日(金)  
「心とからだのリフレッシュ」
- 第3回 2019年1月18日(金)  
「親子で楽しむわらべ歌」  
☆詳細は、柳城豊田幼稚園 HP にて

〈入園を考えている方のための幼稚園見学説明会〉

- 第1回  
9月6日(木) 9:30～11:00  
(9:30～10:00は自由見学)
- 第2回  
9月8日(土) 13:30～14:30

〈2019年度 入園願書配布開始〉  
2018年9月1日より

〈2019年度 入園願書受付開始〉  
2018年10月1日より(満3歳～5歳児)  
☆0歳～2歳児の受付・書類配布は10月中旬頃開始



## 附属幼稚園情報

### 三好丘聖マーガレット幼稚園

〈園行事〉

- 運動会  
10月6日(土) 予備日：10月8日(月)

〈親子参加型講演会〉

- おはなしの会  
8月23日(木) 10:00～11:30  
園の先生による紙芝居上演や講師を招いてのミニ講演会  
「遊びの中で育まれるもの」  
無料 電話予約

〈2019年度入園願書配布〉  
2018年9月1日(土)より

〈2019年度入園説明会〉  
2018年9月15日(土) 10:00～

〈2019年度入園願書受付〉  
2018年10月1日(月)より

〈子育て支援情報〉

- クローバー会  
月に1回程度 10:30～11:20  
2歳児を対象に親子で遊びます  
無料 電話予約
- すくすくひろば  
月に1回程度 10:00～11:30  
0歳児から未就園の親子を対象に保育室や園庭を開放します  
無料

## 同窓会総会のお知らせ

今年度は同窓会総会を開催いたします。今年創立120周年、短大65周年の記念の年です。お世話になった先生方30余名にもお声をかけております。また、5月に亡くなられた相澤晃元チャプレンへの祈りを、皆さんと共に捧げたいと思います。そして、普段あまり接することのないチェンパロのミニコンサートもありますので、皆さんお誘いあわせの上お越しください。

2018年10月27日(土)

10:30～  
名古屋柳城短期大学  
学生ラウンジ

詳しくは別紙をご覧ください。